

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 178419

エポオールスマイル

1. 塗料名 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 A、B
2. 規格 鋼道路橋塗装用塗料標準 (2014)
JIS K 5551:2008 構造物用さび止めペイント C種 1号・2号
3. 特徴
- 1) 弱溶剤形塗料のため、臭気等も少なく塗装作業環境を改善できる。
 - 2) 各種旧塗膜への塗重ね適合性にすぐれ、塗替用にも適している。
 - 3) 素地調整が動力工具処理でもすぐれた浸透性・付着性・防錆性を発揮し、塗り替え用及びブラスト処理が不可能な場合に適している。
 - 4) 無公害特殊防錆顔料の効果により、非常にすぐれた耐食性を発揮する。

4. 塗料性状

項目	内容					
容姿	2液性					
荷姿	18 kg/tt(主剤: 16.2 kg、硬化剤: 1.8 kg)					
色相	赤さび色、グレー、ライトグレー、Dホワイト					
密度 (23°C)	塗料	1.36 (グレー)				
	揮発分	0.82				
加熱残分	72% (グレー)					
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C
	指触	3時間	2時間	1時間	40分	20分
	半硬化	18時間	12時間	6時間	4時間	2時間
標準膜厚	60 μm					
引火点	SDS参照					
発火点	SDS参照					
爆発限界(下限~上限)	SDS参照					

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容			
素地調整*	3種ケレン、4種ケレン			
調合法	主剤: 90部、硬化剤: 10部 (重量比)			
可使時間	5°C	10°C	20°C	30°C
	10時間	8時間	5時間	3時間
温度・湿度制限*	気温: 5°C以下、湿度: 85%RH以上			
使用シンナー	塗料用シンナー又は塗料用シンナーA			
塗装法	塗装方法*	刷毛・ローラー塗装		エアレス塗装
	希釈率*	10%以下		20%以下
	標準使用量*	200g/m ²		240g/m ²
	目標膜厚*	60 μm		60 μm
	ケツ管理膜厚	125 μm		125 μm
エアレス塗装条件	1次圧 0.4MPa (4 kg/cm ²) 以上、 2次圧 12MPa (120 kg/cm ²) 以上 チップNo.163T-417~619(グーゴ) 又は相当品			
塗装間隔* (20°C)	最小	1日		
	最大	10日		

注) *は、「鋼道路橋防食便覧 塗装編」による。

6. 施工上の注意

- (1) 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。旧塗膜上に固着した粉状異物は研磨にて十分除去する。
- (2) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- (3) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- (4) 主剤粘度は特に低温時期に高くなる。開缶前に振倒することで流動性が得られ、取り扱いし易くなる。
- (5) 規定範囲内で塗り重ねを終えるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し更に、ウェスにて拭いて調整してから塗装すること。
- (6) 希釈には塗料用シンナー又は塗料用シンナーAを使用すること。
- (7) 塗装終了後の使用機器は直ちに十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	指定可燃物	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

ホルムアルデヒド放散等級: F☆☆☆☆

8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

2024.03

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。